

第五次 須恵町総合計画

今年4月から、第五次須恵町総合計画がスタートしました。総合計画は、今後10年間の町の最上位計画として位置づけられているものです。計画内の基本構想・将来像を実現するために、5本の大綱を策定しましたので、ご紹介します。

施策の大綱 1 町民とともにつくる協働と参加のまち (住民参画・協働のまちづくり)

施策項目1

生涯学習を基盤に据えた協働のまちづくりの推進

施策内容1

生涯学習を基盤に据えた協働のまちづくりの推進

施策内容2

まちづくり活動への支援

施策項目2

須恵型コミュニティの活性化

施策内容1

須恵型コミュニティの活性化



施策項目1 生涯学習を基盤に据えた協働のまちづくりの推進

施策項目2 まちづくり活動への支援

生涯学習のまちづくりにおいて、町民がそれぞれの興味・関心や必要性から学んだ成果を、それぞれの立場で「まちづくり」に参画して活かせるようにするため、生涯学習成果としての自己表現活動をまちづくり団体や各種ボランティア活動へと繋げ、地域づくり、まちづくりのための「学び」・「社会参加」・「社会貢献」が円滑に行える環境を整備します。

【現況と課題】

須恵町では、校区コミュニティによる「ボランティア派遣事業」、社会福祉協議会による「福祉・小地域ボランティア」などの事業を実施しており、色々な知識や技術・技能を持った人たちを、学校や地域に派遣し、子どもたちや地域の人たちの学習活動の支援を行っています（平成22年4月現在、派遣登録者は186名、派遣依頼は400件）。今後は、学校や地域・サークルなどからの様々な派遣要請に対応し、指導・支援が円滑に実施できる体制を図る必要があります。

また、小学生アンケートでは、5割の回答者が「須恵町が好き」、中学生アンケートでは4割の回答者、高校生アンケートでは6割の回答者が「須恵町に愛着を感じる」と答えています。将来の須恵町のまちづくりの担い手となる子どもたちが、須恵町への愛着を育み、郷土愛を醸成していく必要があります。

■施策の方向性

①まちづくり団体の活動支援

- ・ボランティア派遣事業における派遣登録者を増加させるとともに、様々な指導・支援の内容を充実させ、子どもたちや地域の人々の学習活動を支援します。
- ・ボランティア団体やリーダーの育成、NPO団体の育成など、まちづくり団体の組織体制の強化を支援します。
- ・まちづくり活動を行っている団体間の交流の機会を創出するなど連携を支援し、効果の高い活動の展開を図ります。

②人材バンクの活用

- ・学習ボランティアや福祉・小地域ボランティアなどの相互連携体制を構築し、地域の抱える課題にきめ細かく対応するための人材を派遣します。

みなさんと取組みましょう まちづくりに関心を持ちましょう。

【現況と課題】

須恵町には、色々な学習や活動を通して、「いつでも」・「どこでも」・「誰とでも」・「世代を超えて」小学校区単位のまちづくりを進めていくための校区コミュニティがあります。小学校区ごとに須恵第一小学校区は、「すこやかコミュニティ」、須恵第二小学校区は、「いきいきコミュニティ」、須恵第三小学校区は、「ふれあいレインボー」と命名され、地域住民がアイデアを持ち寄り、特色あるまちづくりの活動を行っています。

しかし、教育に関わる分野だけでなく、地域防災・環境保全・福祉など、校区コミュニティの役割は年々多岐にわたっています。一方では、急速な時代の進展により、少子高齢化・行政区加入率の低下や、特定の人だけが参加し取組みを進めているなど、改善すべき状況もあります。地域の課題は地域で解決するためにも、これからは自立した町民活動を行っていくため人材の育成が重要となってきます。

■施策の方向性

①校区コミュニティ活動の充実

- ・地域や小学校と手を取り合い、計画的かつ継続的な校区コミュニティ活動の充実を図ります。また、校区コミュニティで行われている事業については、行政区、関係団体との調整を図り、地区の課題に対応する事業に適正な体制で取組めるようにします。

②校区コミュニティ活動への支援

- ・校区ごとに自主的で独自性のある活動に対し、相談、指導、情報提供を行います。

③校区コミュニティ活動の担い手の育成

- ・コミュニティ活動の企画から運営まで、指導的、先導的役割を担うリーダーやコーディネーターを発掘・育成します。特に、これまで校区コミュニティへの関わりが少ない年齢層をはじめとした新たな人材にまちづくりへの参画を積極的に働きかけていきます。

④校区コミュニティ施設の充実

- ・校区コミュニティ活動が継続的に運営できるよう施設などの充実を図ります。

みなさんと取組みましょう 校区コミュニティ活動に積極的に参加しましょう。

施策項目1 生涯学習を基盤に据えた協働のまちづくりの推進

施策項目1 生涯学習を基盤に据えた協働のまちづくりの推進

行政と町民とのパートナーシップの視点に立った、自主的・自律的な住民自治によるまちづくりの展開を図るため、各種団体や関係機関が関わるまちづくり活動を総合的に支援するとともに、行政各課が主管する組織・団体を横軸・縦軸で統合し、まちづくりの方向性を両者が共通認識できる全町的な推進体制を構築します。

【現況と課題】

須恵町の生涯学習活動は、まちづくりの基本理念に基づき、子どもから大人まで多世代が、学習する本人の幸せや喜びや生きがいを自己発見するためのものです。その特性として多くの町民がまちづくりに参画しているかが前提となります。

本町では、生涯学習活動についてこれまで主として学校教育と社会教育の場において施策を展開してきました。これからは、「協働のまちづくり」を基本理念とし、生涯学習活動を教育の分野だけではなく、総合行政で地域社会づくりの各分野にかかわる施策として位置付け、これまでの活動の成果を踏まえながら、生涯学習社会を構築するための組織体制を整備し、まちづくりに活かしていくことが必要です。

■施策の方向性

①生涯学習推進体制の充実

- ・須恵町型生涯学習の概念を踏襲し、全町の組織体制の整備や関係団体との連携強化により、生涯学習基盤の充実を図るとともに、町民とのパートナーシップの視点に立った自主的・自立的な住民自治によるまちづくりを推進します。

②多彩な生涯学習機会の確保と内容の充実

- ・まちづくりの基盤は人づくりという観点から、様々な分野からの生涯学習機会の確保を促進し、その内容を充実させていきます。
- ・すべての町民が積極的に地域社会と関わりをもち、これまで培ってきた知識・技術・知恵を活かし、社会貢献によって生きがいを発見できるような活動の展開を図ります。
- ・須恵町生涯学習活動を理解し、町に愛着を持ってもらえるよう、子どもから大人まですべての町民が参加できるイベントや研修会などを通じ、町民のまちづくりへの主体的な参加意識や郷土愛を醸成します。

みなさんと取組みましょう 常に学ぶ姿勢を持ち、生きがいを見つけ、充実した生活を送りましょう。